

## 大連 振興の軌跡

夏 徳 仁 著  
 斎 藤 敏 康  
 曹 瑞 林 訳  
 高 屋 和 子

### まえがき

本翻訳は前大連市長・夏徳仁氏の著書『振興的軌跡』（人民出版社，2009年12月出版）の中から三篇を選んだものである。『振興的軌跡』は夏氏が大連市長時代の市政改革，なかんずく経済構造改革について論じた書物であり，現在，慈道裕治氏の監修の下，上記三名に松野周治，楊秋麗の両氏を加えた翻訳チームによって編訳が進められつつあって，11年4月には中央公論新社より出版の予定である。ただ原著は漢語で496ページという浩瀚なものであり，日本で通常出版される一般書の体裁に収めようとすると勢い半分近くに圧縮せざるをえなくなる。しかしそれでは，夏氏の市長在任期間を通じて飛躍的な発展を遂げ，北東アジア地域を代表する国際都市に成長した大連の困難と突破のドラマを必ずしも十分に紹介することにはならないと思われる。そこで割愛された諸篇についても何らかの形で関心ある人々の目に触れやすい形にしておくことが望ましいと考え，今回は以下の三篇を，東北財経大学とも縁の深い内山昭氏の退任記念号に加えていただくことにした。『立命館経済学』への掲載を許諾された夏氏，並びに紙幅を提供していただいた編集部に感謝したい。

夏徳仁氏の経歴を紹介しておきたい。

1955年6月，遼寧省大連市生まれ。78年，東北財経大学財政金融学部入学。文革後，はじめて大学入試が正常化され多くの俊英が大学に殺到した中で入学を果たした所謂「77年生」である。大学院も引き続き東財大で研鑽を続けながら，同時に学部教育も担う。90年，経済学博士。同年，財政金融学部副学部長，94年，東財大副学長に就任し，同時に当時空席であった学長職を兼任した。その後96年には学長に就任。経済学者としての夏徳仁氏は中国経済の移行期における金融理論の構築に取り組み『金融綜論』の著書もある。また現実の経済に対する実証的な分析もすすめ，金融改革と金融政策，インフレと貨幣経済，貨幣とマクロ経済などをテーマに多くの学術論文をもっている。98年に大連市人民政府副市長に転じ，01年，遼寧省人民政府副省長，そして03年1月に大連市人民政府市長に推挙される。大連市長の任期は通常1期5年であるが，夏氏は08年1月にさらに2期目に推挙され，09年5月に中国共産党遼寧省委員会常務委員に就任するまで，

都合6年5カ月間大連市長の地位にあった。

03年当時、夏徳仁新市長の前にたちふさがっていた大きな課題の一つは従来型工業基地の改革であった。大連を始め東北地方には従来から基幹的産業分野の大型国有企業が多く、それが東北の工業力の源泉でもあったが、他方、全国的な改革開放経済への移行にも関わらず、東北は古い計画経済システムに束縛され、国有企業改革や産業構造調整が遅れるという所謂「東北現象」が蔓延し、大連もまたその軛から自由ではなかった。夏市長は中央政府の東北振興政策を追い風として、市場メカニズムを導入し国有大企業の株式制化や設備の更新などによる生産力の拡大を実現するとともに、大規模な電子情報、ソフト・ウェア産業の展開や現代サービス業の発展などを通じて、大連の産業構造の転換を推進した。また行政改革にも力を注ぎ市政府の性格・機能を「管理型」から「サービス型」に転換した。大連は薄熙来前市長の時代から緑の多い美しい街として有名であったが、夏市長は引き続き科学的合理的な都市建設を進め、汚水処理、大気汚染対策などを鋭意推進して、国際的にも評価の高い快適な街づくりの実現をめざした。

今回ここに翻訳した文章のうち、例えば「持続可能な発展を堅持し、国際化された都市を建設する」では、経済と社会の発展を促すと同時に市民の文化的な暮らしを実現するアメニティーの高い街づくりを展望している。また、ハルビン、長春、瀋陽、大連という東北地域の四大都市市長が集った「サミット」における講話である「東北内陸部に対する大連の総合的なサービス機能を全面的に引き上げる」は、広大な東北内陸部の従来型工業基地振興と農業等の産業振興のために、港湾都市大連がその「龍頭」（牽引車の意）としての役割を担う決意が語られている。さらに「改革を深化させ開放を拡大し、イノベーション型都市建設と地域協調を進める」は、06年度の「政府活動計画」すなわち施政方針演説である。ここでは前年度の総括とともに新年度の政府諸政策及び計画の達成目標が具体的に示される。これらは市長の責任の下に遂行される施策のガイドラインであり、議会である大連市人民代表大会や市政协協商会議が市政府の事業を監督、監査、点検する際の基本的根拠となる文献である。

これら三篇の翻訳によって、壮大な展望に立って大連と東北地域の現代化、国際化をリードした夏徳仁市長の周到な構想と意欲的な挑戦の一端が伝えられることを願っている。

最後に、「内山昭教授退任記念論文集」に翻訳を掲載するに当たり、訳者を代表して、長年にわたる内山氏の学恩と厚誼に感謝の意を表したい。（斎藤敏康）

### 持続可能な発展を堅持し国際都市を建設する ——2003年・遼寧省都市建設管理現場会議における発言——

20世紀90年代以降、大連市は「最大を求めず、最良を求める」という都市の建設方針と経営の理念の下で、大規模なインフラ整備と環境の総合的保全を継続的に実施してきた。これにより大連の都市ランクと都市機能が一気に高められ、国内外における大連の知名度が一層高くなり、大連の地域経済と社会は著しい発展を遂げた。これは大連の持続的発展に堅実な基礎を定めた。2002年、全市のCDPは1,406億元に達しており、対前年比14.1%、2003年1月から6月までのGDPは662億元、対前年比14.2%の増加である。2003年の1月から8月まで、全市の一般会計収

入は対前年比18.9%の増加であり、実際の外資直接投資は同14.5%、輸出は同20%、社会全体の固定資産投資は同63.5%、社会消費品小売額は同66.6%の増加である。東北地域の従来型工業基地の振興戦略を着実に実施するため、大連市は「従来型工業基地の振興に関する若干の意見」と総合計画を制定し、100の重点産業プロジェクト（総投資額は763億元）を選択し重点的に推進することになった。産業構造を調整し、東北振興における大連の対外開放の先導区としての役割を大いに発揮するため、旅順南路に沿ったソフト・ウェア産業地帯、星海湾先物金融ビジネス区、大孤山国際物流産業区と双島湾石油産業区を計画し建設しはじめた。都市建設管理において、21世紀に入って、大連市は最近10年間の都市建設について全面的に総括し、「強固、継承、イノベーション、発展」の理念を確立し、都市の計画、建設および管理に関する科学性、社会性、整合性、歴史性の原則を貫いて、更に力を入れた。これにより市の都市建設と管理は更なる新たな発展を遂げた。

### 1. 総合的競争力の向上と都市計画の整備

科学的な計画は都市を健全的に発展させる前提条件と基礎である。長年来、われわれは、大連の優位性を生かして、都市、自然、経済を結びつけるという構想の下で、都市計画を立て、市の総合的競争力の向上のために堅実な基礎を定めた。

その一、産業構造を調整し、経済の発展に貢献する。

大連の百年の歴史の中で、その50年間はロシアと日本の植民地の位置におかれていた。その状況のため、大連の都市計画と建設は濃厚な植民地の色彩を持つ。大連港の周辺には大量の工業企業、臨港区、工場区、住民区が交わり、都市の環境、企業の発展、市民の生活に大きな影響を及ぼしている。20世紀90年代初期、大連市は都市計画について重大な調整を行うことを決意し、大規模な都市建設と改造を行い、これを通じて大連という都市に科学的、合理的な都市構造を持たせ、経済と社会の発展により広い空間を与えることに努めてきた。これにより、大連は青泥洼商業区、人民路ビジネス中心区、中山広場金融区、星海湾展示会区が次々と形成され、港湾、工業と観光の機能が一層強化され、商業貿易、金融、情報の機能が顕著に現れてきた。同時に都市部にある工場に大規模な移転と改造を行い、市の産業構造が一層改善されるようになった。今まで、市内から郊外に移転された企業は150社、空いた土地は650.8万平方メートルになった。それらはすべて第三次産業の発展、住宅、広場、緑地の整備に使用されている。2000年以降、企業はこの移転から約40億元の土地補償金を受け取った。大連重工・起重集団などの多くの大型移転企業は全面的な革新・改造を行い、苦境から抜け出して新たな発展のチャンスに恵まれた。現在、企業移転を主とする産業構造の調整が行われている。

その二、人を本に都市の環境を改善する。

市民の生活と仕事の環境の質を高めることは、われわれが都市計画を立てるうえで、終始堅持してきた重要な基準である。市民の外出に便利でかつ速い交通手段を提供するため、市政府は道路網の密度整備や公用施設の完全化に力を入れた。市民に憩いと娯楽の場所を増やすため、市内にある全ての広場の改造を完成すると同時に、海之韻、オリンピック、海軍、星海などの広場を新たに造った。ここ3年来、市は11の公園、20の広場、116の遊園緑地を造った。市民は家を出ると、また花園に入ったように、新たな都市景観が形成されるようになった。

その三、自然の優位性を掘り下げて山と水の特徴を目立たせる。

魅力のある都市は必然的に特色のある都市である。大連は海浜都市として、空、海、山は綺麗である。この大自然の優位性を最大限に掘り下げ、また利用するため、近年、大連は都市の容積率、建築カバー率などの技術指標を計画、審査・許可の重要な参考根拠にしている。建設プロジェクトと都市環境を相互に融合させ、自然と人文の景観をバランスが取れるように調整する。自然資源を十分に利用すると同時に、大量の人文景観を造り、それを自然の山水と一体化させ、調和の取れた美しさを表している。同時に、現代的設計の理念の下で、高層ビルの高さ、デザイン、配置、とりわけ住宅区の密度、階数、住宅の表面処理、空間のランク、建築色彩など、都市の全体的イメージに対しコントロールを行う。これによって、大連の建築は整然として秩序があり、また協調性と統一性を持ち、都市の自然風貌と人文景観が有機的に融合する特徴が顕著に現れた。

その四、都市の歴史を尊重し、建築の文脈を保つ。

歴史的な原因により、大連の建築のデザインは長い間、外来の建築の文化と形の影響を受けて今日のような特色のある大連の都市建築風貌になっている。大連は何千年の歴史のある文明古都に及ばないからには、現代都市の風格を高揚しなければならない。それぞれの古い建築物は特別な歴史の背景と独特の生命力を持っている。これはまた大連という町の貴重な財産と富であるため、それを守らなければならない。これはわれわれが都市の計画と管理を行うときの重要な準則となる。2002年10月、市政府は「重点保護建築の修理・修繕と管理の強化に関する通達」を公布し、100の重点保護歴史建築を確定した。この通達では、関連事業の組織管理、重点保護建築に対する認定、使用管理などに明確な規定を記している。こうして大連は都市計画と建設において新旧調和、中国とヨーロッパ融合の風格が現れるようになった。この都市計画と建設の風格は歴史的な重さを保つとともに、現代的息吹きをも表している。これまでの数年の間、大連市は相次いで中山広場、日本風情街、ロシア風情街などの歴史的建築物を建て直し、修理・修繕を行ってきた。近年、われわれは天津街と勝利橋北の古い区域に対し計画と改造を行った。天津街に対する改造工事は中国の伝統文化と大連の古い町の歴史を再現しているとともに、都市文化の品位を向上した。また勝利橋北の区域への改造は本来欧米の建築風格を保留するとともに、都市の環境を改善し、都市の歴史的な文脈を延長することができた。

## 2、持続的可能な発展に着目し、都市の建設と改造に力を入れる

都市の機能と環境の質量は都市の現代化の水準を表す重要なメルクマールであるとともに、都市の持続可能な発展の要素でもある。20世紀90年代以降、大連は大規模な都市建設と改造を通して、都市の機能を高め、都市の風貌を著しく変えた。ここ三年来、われわれは都市の建設と改造に大いに力を入れ、以下のいくつかの方面の事業を重点的に推進してきた。

### (1) 現代的国際都市の水準を目標に、都市環境というブランドを構築する

ここ数年、大連市は小さな建物や囲み壁を取り壊し、緑地、電信柱、広場、街灯を造るなど、都市環境の改善事業を行い、顕著な効果を見せた。最近の3年来、われわれは引き続いて都市環境の建設と整備を強化したことにより、環境の質がかなり改善された。都市の緑化事業について、全市では毎年新たに増加した緑地面積は100万平方メートル以上、植樹は150万本を超えている。また二架山、中華路北山、後塩出口などの9箇所に都市森林を造った。都市部の緑化カバー率は

41.8%、一人当たりの公共緑地は9.8平方メートルに達している。環境改善において、都市部と農村部を繋げるところ、空港滑走路、鉄道沿線、快速電車沿線の両側、大連駅南広場などの区域の環境に対し総合的な整備改造を行った。馬欄河、自由河、周水子河などの都市部の河川に対し緑化や美化工事を行った。同時に、道端市場、広告看板、産業と一般道路の両側にある建物に整理整頓を行った。汚水処理について、馬欄河、春柳河汚水処理工場を改造し、立て直した。また老虎灘、寺兒溝、凌水、泉水、大連湾に5箇所の汚水処理工場を改造した。大連の汚水処理率は全国の大中都市において上位にある。「光明（光り輝く）工程」について、大連市は道路の照明水準を高め、夜景色の魅力を強調するため、都市の照明工程を全面的に推進してきた。都市部の20箇所の大型公園、56箇所の大型広場の照明施設がすべて更新され、42本の産業と一般道路の街灯をレベルアップにして、すべての大型建築物の屋根に「金屋頂」工程を実施した。住民アパートの中に感应照明灯が据え付けられている。都市部では今までの「暗夜行路」の状態が消滅された。180余りの都市彫像と噴水の照明施設にレベルアップの作業を行ったことにより、大連の夜景が随分綺麗になった。大連は都市の環境建設と改造を通して、市民に安定的で快適な生活環境を作るのみならず、市の自然と投資環境を改善し、大連を現代的な国際都市に邁進させる上で重要な役割を果たしている。これまで大連は多くの栄誉を獲得しており、2000年にはディベール国際住居環境改善の最善模範称号、2001年には国連から環境グローバル500都市賞を授与されている。これらの称号は大連にとっての無形資産であり、大連は世界向けの競争力を強化している。

## (2) 適切にリードする原則に従い、インフラと公共施設の整備を加速する

現代都市のインフラ整備の枠組みを迅速に構築するため、大連は都市のインフラ整備に大いに力を入れることにした。黄海道路、旅順南路、海皮路などの区域的道路の開通、また瓦房店、普蘭店、庄河の3つの県級市を跨ぐ全長223.3キロの永青路の完成、さらに市内から金石灘リゾートまでの46.6キロの快速電車の開通により、新旧市区間の距離を短縮し、沿線の開発と経済発展を促進すると同時に、都市のランクを高めることができた。大連駅の改造・拡張工事が竣工し、周水子国際空港の拡大改造工事が実施中である。また5.9億元の工事費用を要した「引英入連（庄河市（県級市）にある英那河ダムの水を大連市内に引き入れる）」という引水工事はこれまで長い間の大連市の用水問題を解決した。総投資額20億元の天津街商店街の改造一期工事は今年完成する予定である。投資額30億元の西安路商店街の改造工事は2004年に完成する。大連のメインストリートである中山路の総合改造一期工事が竣工され、路面は従来の25メートルから50～70メートルに広がった。中山路の歩道、緑化地帯、街灯と周辺的环境はすべて更新改造を行った。また道路両側に10の大型公共プロジェクトが相次いで着工されるようになった。全長6.5キロの解放路総合改造工事が開始され、改造後の解放路はその道幅が広くなるとともに、その両側と周辺の150万平方メートルの旧市街地に徹底的な改造を行う。これらの工事が完成すれば、今まで建築物に隠されていた山景が現れ、高層ビルから海が見えるようになる。総投資額37.7億元の大窯湾コンテナターミナル二期工事、また20万トン輸入鉱石ターミナル、30万トン原油ターミナル、大連国際物流産業区の工事などのプロジェクトが建設中である。今年の第4四半期から3年間をかけて敷地2.38平方キロの大連の古い港に改造工事を実施する予定である。現在、全市の水道水とガスの普及率は100%、暖房の普及率は96.8%、都市部では、百世帯あたりの住宅電話保有部数は103、農村部では、百世帯あたりのそれは62部、全市100人当たりの移動電話保有部数は40部、

有線テレビネットワークのカバー率について、都市部では96%、農村部では60%である。1万人あたりの公共バス利用台数は20.3台である。大連は全国における車が滞りなく走るモデル都市に選ばれた。同時に、文化スポーツと観光施設が造られた。美しい環境、整備されたインフラは都市の核心的競争力を高めた。2001年から21カ国の政府高官の出席した APEC 会議、2002年、7000人に上る世界華人保険大会、さらに今年2003年7月、26箇国の代表が参加したアジア・欧州経済部長会議が大連で開催された。

### (3) 市民のための都市建設の理念に従い、都市部の改造と建設を加速する

2001年、われわれは、市中心部の古い市区の土地調査を行い、改造を要する土地は244箇所、敷地面積は849万平方メートル、世帯数は6.2戸、人口は21.7万人であるということが分かった。市政府は旧市区の改造工事を市民生活の改善に重要な事業と位置づけ、2005年にその改造工事を完成する計画である。2002年、全市は23箇所の旧市区の土地に対し改造工事を行った。また昨年、取り壊し、移転した古い建物、工場の面積は110万平方メートルに上った。今年2003年、取り壊し、そして移転したのはそれぞれ40箇所、300万平方メートルである。これらの改造工事により、合計5.2万世帯、15.6万人の住宅条件を改善することができた。住宅建設の事業を健全的に発展し推進するため、大連の実情を踏まえて、われわれは、次の6点の構想を考える。その一は、新しい住宅団地は都市と農村を結ぶ区域、また都市部の辺縁地域に延長する。この構想は都市の空間を広く切り開き、都市化の道を加速していくためである。その二は、大連に住むことを基礎に、都市経営の理念で大連を人々にとっての住みやすい都市に作り上げる。その三は、建築物のカバー率を低くし、集積率を抑制する。また住宅新区の空間を広げる。その四は、公共建築物と住宅を分けるようにする。その五は、インフラの整備において、なるべく将来のことを視野に入れながらその機能とワンセットの工事を行う。その六は、住宅団地内の公用、公益、環境に関連する工事を同時に行う。新しく建てられた住宅区は、必ず駐車場を作らなければならない。新しい住宅区と旧市区の交通連結問題を解決し、郊外住宅区と市中心部との距離を短縮する。

### (4) 都市・農村を共に繁栄するという構想を明瞭にし、衛星都市の建設を推進する

近年、大連市は都市・農村を共に発展させ、共に繁栄するという構想を堅持し、3つの県級市に対する大開発戦略を実施している。2001年から2005年までの5年間、市政府は補助金の形で3つの県級市（瓦房店市、普蘭店市、庄河市）に毎年5億元を投入し、衛星都市の建設を推進する。政策支援を強化し、具体的な指導を行ない、全力を上げて推進することによって、3つの衛星都市の建設は新しい段階に飛躍し、総合的経済力を著しく増強することができた。規模の小さな鎮の建設にも大きな進展が見られた。市政府が統一的に計画を立てて建設してきた20の重点鎮は、規模において初期的成果をあらわした。砲台鎮、皮口鎮、楊樹房鎮、獐子島鎮が全国小城（都市）鎮建設試験鎮に選ばれた。2002年、胡錦濤総書記は瓦房店市の砲台鎮を視察に訪れ、鎮の発展を高く評価している。

## 3、改革とイノベーションを堅持し、科学的都市管理のメカニズムを構築する

都市管理は複雑なシステム工学であるとともに、また永遠の主題でもある。近年来、われわれは、市場経済の要請と都市発展の実情に対応し、積極的に改革とイノベーションを行い、科学的な都市管理メカニズムを構築し、それを完全なものにする。これはまた都市建設管理の水準を高

める。具体的には次の諸点である。

その一は、都市管理制度の確立である。近年、「大連市の都市景観管理条例」、「大連市都市環境衛生管理条例」、「大連市都市緑化管理条例」など、10以上の地方法規、30余りの政府規定制度、60余りの政府の規定制度と関連する規範的公文書を公布した。これにより大連では相対的に完全な都市建設法規のシステムが形成され、法に基づいて都市を建設し管理する上で、大きな成果を上げた。

その二は、イノベーション都市の管理メカニズムである。分級管理、責任と権利の統一的原則に基づいて、われわれは2000年、3、4級の道路の補修および管理に関する事業をすべて各区に分担させるように事務配分を行った。また2002年、都市の総合的法律の執行権を各区に下放し、各区は都市の総合的法律執行の体制を整備した。この事務配分と権限の下放により、都市建設管理における各区政府の意欲性とイノベーションを生かすことができた。毎年、各区政府はさまざまなルートで資金を調達し、それをインフラ整備及び公益事業に充当する。ここ3年来、市内4区では都市インフラのための投入資金は40億元を超えている。管理と実施、管理と補修を区分するという原則に基づいて、市は道路の補修、清掃、緑地の補修、街灯、排水管理などをすべて市場に任せる。オープンな入札募集制度の下で都市管理補修の組織、団体や会社を選ぶことにより、管理コストを下げると同時に、財政負担を軽減する。都市部の生活ゴミはすべて紙袋で収集し、生活ゴミの分類収集は全面的に普及されつつある。都市部での水道水、ガスの供給に関する業界の独占も打破され、徐々に市場に入るようになった。

その三は、イノベーション都市建設に関する資金管理のメカニズムである。「まず計算して支出する、総量をコントロールする」という原則に基づいて、各方面からの分散的資金を統一的に管理し使用する。建設資金の具体的な管理方法を制定し、申請の手続きを厳格にし、各段階で厳しく審査し、責任を負う。同時に、融資による建設債、国内外からの融資を統一的に管理し、重点プロジェクトの速やかな実施を保証するとともに、有機的に時間の差を利用し、借款返済の時間を保証する。これは都市の信用を守ると同時に、限られた資金を有効的最大限度に活用し、少ない資金で多くの事業を成し遂げる。

その四は、イノベーション建設プロジェクトの管理メカニズムである。

重大都市建設プロジェクトの専門家諮問制度を確立し、専門家諮問委員会を設立した。各方面からの申請プロジェクトに対し専門家の検討を通さなければならない。企画と設計の市場を開放し、国内外から先進的な企画と設計の理念と方案を導入する。すべての建設プロジェクトに対しいくつかの方案の設計を要求する。諮問委員会は申請された方案について比較、修正、審査、選択を経てその中から最も優秀な方案を選ぶ。インフラ整備の手続きを厳格にし、市監察局、計画委員会、建設委員会、財政局などの部署の責任者がメンバーとなる重点プロジェクトの建設入札の指導グループを設立した。建設面積4,200平方メートルの建設プロジェクトの交易センターを造った。入札の手続きを厳しくし、公開、公正、公平の下で、全市の重点プロジェクトの入札と監理率は100%を達成することができた。全面的に法人責任制を導入したため、建設プロジェクトの質量を有効に保障することができ、都市の計画、設定と建設の水準を高め、質の高いプロジェクトが大量に現れた。

#### 4、都市経営の理念を堅持し、都市建設融資のルートを開拓する

都市そのものは最大の国有資産である。市政府の重要な職責の1つは都市建設、都市経営を通して、都市の価値を絶えず向上させることに努めなければならないことである。都市経営の理念を都市の計画、建設と管理の全てに浸透し貫かなければならない。経営の思想を持って都市を計画し、経営の手段と方式で都市を建設し管理する。長年来、市場経済の条件の下で都市建設と経済発展の内在的法則に従い、都市建設を突破口とすることを正しく把握し、環境の優位性を最大限に経済の発展に転換したことにより、都市建設と経済発展がうまく循環できる局面が形成されている。この都市経営の理念の下で、大連の国有資産が大幅に増加し、また素晴らしい経済と社会的利益を上げることができた。

##### (1) 都市の土地資源を活性化し、不動産の急速で健全な発展を促進する

都市の土地は都市産業における最も基礎的要素であり、また都市建設資金の重要な財源でもある。この10年来、大連は全国に率先して不動産開発を市場に任せた。土地資源から獲得した差額、つまり土地使用権の売買などによる土地収入で市内の56箇所のあばら家、くぼ地を改造した。この間、市内200万人のうち、100万人が新しい住宅に引越した。さらに45万人が住んでいる新しい住宅の建設資金は市政府が土地経営により調達した資金である。この建設資金は120億元にのびた。不動産開発による外資利用額は400億元以上であり、この資金で70以上の公共の大型建築物を建てた。ここ10年来、市の経済実力の増強と無形資産付加価値の拡大は、大連の発展を大いに支えてきた。大連市内四区の平均土地価格は5倍増加した。同時に、これによってまた各産業の企業資産価値を高めることができた。全市の第1次、2次、3次産業の付加価値の割合は1992年の12:56:32から2002年の8.4:44.6:47に変化し、飛躍的な発展を遂げた。この3年来、大連市は継続的に都市部の土地をうまく経営するようにしている。2001年から規範的な不動産取引市場を設立した。これにより都市の国有土地をすべて公開し競売に付して、入札、譲渡する。また競売、入札の手続きを厳格に実施する。国有土地の付加価値を高め、都市の持続可能な発展を保障するため、われわれは、「コントロールのある譲渡、飽和しない供給」の原則の下で、国有土地の備蓄制度を設立した。これは土地開発を有効にコントロールし、不動産開発市場が健全で秩序ある発展の勢いを保つことができた。2002年、全市は不動産開発に142億元を投資したが、これは対前年比20%、全市の固定資産投資の38.6%を占める。今年の1～8月までの不動産開発投資額は98.3億元、同31%である。中古不動産の取引成立額は27.8億元、同57.6%である。これは大連の経済発展を引っ張る重要な産業となっている。

##### (2) 都市経営の理念に基づいて、都市建設の市場化を推進する

近年、どのように都市建設資金を調達するかという問題を解決するため、その融資ルートの開拓、都市インフラ整備プロジェクトの全面的な社会的融資と市場化の運営に努めてきた。総投資額14億元の泰山火力発電所、一日当たり処理能力1万トンの付家庄污水处理工場、一日当たり処理能力8万トンの老虎灘污水处理工場は稼動し、また一日当たり処理能力8万トンの馬欄河污水处理工場二期工事、一日当たり処理能力3.5万トン污水处理工場一期工事は年内に開始する。これらの工事が竣工してその生活污水の一日当たり処理能力は19.5万トンを増加し、都市部の生活污水処理率は90%に達する。同時に、一日当たり処理能力3,000トンの毛蜚子ゴミ処理工場の工事は年内に開始する。今年は中山路などの主要道路に位置する歩道橋をすべて取り壊す。代わりに、エスカレ



ータ付き地下道路が使用される。これを整備するための所要資金は3.5億元であるが、それはすべて社会的融資を通して解決する。本年、全市の都市建設プロジェクトと不動産開発資金は250億元となる見込みである。そのうち、市財政は9億元を支出する。残りはすべて社会的融資による。次は都市建設の管理についてである。われわれは以下の事業を重点的に進める。その一は、古い工業基地振興の好機を掴み、都市計画の布石をよくし、産業構造の更なる調整を促進する。四大産業パークの建設を加速し、都市機能を完備し、都市建設と経済構造が協調的急速的に発展する環境を作る。その二は、大型プロジェクトによる牽引戦略を堅持し、さらに牽引的役割を果たせる大型インフラ・プロジェクトを実施する。専門的体制を作り、地下鉄、快速鉄道の交通網、大連港の移転改造、南部大通路などの大型プロジェクトの立ち上げと建設を推進する。その三は、都市部の古い市街地の改造を加速し、住宅建設の水準を高め、22平方メートルの泉水住宅団地の開発を加速し、6.5キロにわたる解放路およびその両側にある150万平方メートルの古い市街地に対する総合的改造を全面的に推し進め、また大連空港から南側に10平方キロある都市と農村の接点と言われる古い市街地の改造を実施し、市民の住宅条件と生活環境を一層改善する。その四は、緑化事業に力を入れ、秋季の都市緑化の高潮を巻き起こす。2004年にはさらに100万平方メートルの緑化面積を増加する。都市森林区域と遊園広場を造り、都市緑化カバー率は42.2%、一人当たりの緑地面積は10.1平方メートルを達する。その五は、都市環境の総合的整理整頓工事を継続的に実施し、飛行機から見た大連の陸地環境、都市と農村を結びつける部分などの重点的領域に対し全面的に整理整頓を行う。線網を地下に、煙突や路面にある小さな小屋を取り壊す。毛葦子ゴミ処理工場および5つの汚水処理工場の工事を一斉に開始する。 (曹 瑞林訳)

### 東北内陸部に対する大連の総合的なサービス機能を全面的に引き上げる ——2004年・東北四都市市長サミットにおける発言——

東北地域等において従来型工業基地の振興を進めることに関する、党中央、国務院の戦略的政策は、東北地域に千載一遇の発展機会をもたらした。この状況を掴んで如何に発展を早め、東北の従来型工業基地振興を率先実現し先導するのか、このことが私たち4つの主要都市の前に横たわっている共同任務である。長春市が「第1回・東北四都市市長サミット」を提唱し主催してくれたことに感謝したい。これは大連と他の都市の共同の願いを反映している。今回の会議が採択しようとしている『従来型工業基地振興を率先実現し先導する東北四都市の意見』は必ずや、四都市の持ち味を生かしつつ相補い全面的な連携をすすめることを促し、さらには東北地区の従来型工業基地振興を通じて互いに発展、繁栄を実現する方向を推進するであろう。

世界経済のグローバル化と区域経済が一体化するというマクロ的な情勢下にあって、北東アジア経済圏が形成され発展しつつある。東北地域は北東アジア経済圏の中心にあって、非常に重要な戦略的位置を占めている。東北の従来型工業基地を振興するという中央の戦略の実施に伴って、東北地区は朱江三角州、長江三角州、北京・天津・唐沽地域に続いて、わが国経済の重要な発展地域になっていくであろう。そしてハルビン、長春、瀋陽、大連は東北地域において発展が早く総合的な実力をもつ中心都市であり、この四都市をさらに発展させることは東北全体の振興にと

って非常に重要な意義をもっている。

大連の発展は東北全体の発展と密接につながっている。第一次五カ年計画の時期、国家は東北に政策の重点を置き、東北を国家的な工業基地とした。しかし近年、従来型工業基地の体質的、構造的な諸問題によって東北地域の発展は相対的に停滞し、大連もその影響をうけて、港湾貨物の取扱量の全国順位が漸時後退している。つまり港湾都市としての大連の経済発展は東北地域の経済振興に大きく依存しているということである。従って将来に向けての展開において大連は積極的主体的に東北地域と融合し、大連の発展計画を東北地域全体の大きな計画の中で統合的に構想し、東北の都市、とりわけ中心的な都市との連携と協調を強め、互いのよさを生かしながら相補い共に発展するような構造を作り上げたいと考える。大連はさらに沿海都市のもっている港湾、貿易、金融および情報などの面での有利さを発揮して、東北内陸への現代的サービスシステムを着実に実行し、都市の総合的なサービス機能を高め、東北内陸部への全面的なサービスを担う中で、東北とともに振興する事を模索したい。

### 1. 東北内陸部に沿海の総合的なサービスを提供する

大連は東北地域の最南端、遼東半島と渤海湾岸の諸都市と向かい合い、海を隔て日本、韓国を相望む位置にある。この天与の地理的優位さが、大連を東北地域が世界に向かう輸出港にし、欧亜の大陸と運輸を繋ぐ理想的な中継港にしている。中央政府は、大連を北東アジアの重要な国際航空、運輸センターにし、将来的には大連の沿海的な総合サービス機能を強化して、東北内陸部の大量の貨物を中国東南部沿海地域及び国際市場に運ぶ主要な経路と重要な中枢地点とし、東北経済が地域化、国際化していくための戦略的根拠を提供し、沿海と内陸の経済的連動を作り上げ、新経済成長地域の形成を促進する計画を打ち出している。

私たちの目標は、10年程度で500億元を投資し空港と港湾及び沿海の物資集散システムを主体としたインフラ建設を基本的に完成させ、国際的な沿海都市としての多機能的なサービスシステムと制度的環境を整備し、中枢的港湾としての位置を際立たせ、沿海環境の優越、生産要素の集積、航空運輸市場の国際化レベルの向上を実現し、情報流通網、環黄海・渤海地域のコンテナ中枢港及び北東アジアの重要な国際航空運輸センターを初歩的に形成することである。2010年までに大連港の取扱量は2億トン、コンテナ取扱量は800万箱にし、2020年には港湾の取扱量3億トン、コンテナ取扱量1200万箱に到達させたい。本年は、30万トン級の原油埠頭、30万トン級の鉍石埠頭、大窑湾コンテナ埠頭第2期プロジェクトによる二つのバース、庄河港第1期プロジェクト及び北良港総合物流プロジェクト等を続々と完成させ使用可能にする。大石汽化埠頭、大連湾雑貨流通埠頭、大窑湾自動車物流埠頭及び大窑湾保税物流パークなど一連の港湾インフラ建設事業も急ぎ進行中である。

### 2. 東北内陸部に物流サービスを提供する

大連の沿海機能が整備され、鉄道、道路、海上運輸、航空運輸、パイプ及びコンテナ等の物流体系が比較的完備すれば、東北内陸部に全面的な物流サービスを提供することができる。大連港は世界の160余りの国と地域の300余りの港と通航しており、個体荷物、コンテナ、鉍石、石油及び化学工業等の港湾バース設備を完備している。また大連空港は100路線以上の国際国内便が就

航している。すでに建設が始まっている大連・煙台間の列車連絡フェリーは東北地域と東部沿海都市の距離を短縮することが見込まれている。昨年末に国家の検収を通過した大連北良穀物中継港によって大連は長江回廊、西南回廊、北京天津回廊に次いで、第四の穀物流通回廊になるであろう。

今後の発展を通じて、私たちは大連現代物流のインフラ施設と重点的な機能区の建設を急ぎ、現代物流企業を誘致して、国際物流を特色とし大口の主要品目を重点としながら、東北地域の生産物流と消費物流を促進する物流業発展の骨格を形成し、10年前後で大連を東北経済地域における重要な国際物流センターとして建設する。同時に国内外の大型海運企業との協力を強め、地域と海洋を越えた運輸能力を強めたい。私たちは大孤山保税區保税港の建設を急ピッチで進めているが、また保税區の機能を大連港全体に及ぼし、保税區と大連港を一体化することも目指しており、最終的には自由貿易港を造り上げて、東北地域の対外開放のためによりよいプラットフォームを提供したいと考えている。

### 3. 東北内陸部に協同加工と附属サービスを提供する

沿海都市として海港を前にしている大連は、東北内陸部の作物、森林、埋蔵鉱石などの資源を吸収して、大連において臨港加工業を發展させ、資源に付加価値をつけることができる。大連における最初期の加工業は東北内陸部の大豆を原料とし、それを豆油、豆餅、豆粕に加工して世界各地に輸出することであった。近年では、大連商品取引所大豆先物取引はアジア第1位、世界第2位を占めており、昨年の取引額は3億9千9百萬元に達している。東北はわが国の装備製造業の重要基地であり、大規模な装備製造業の開發と生産には学科、部門、企業を超えた共同作戦が求められており、協力を通じて東北の企業の総合的な競争力を高めなければならない。大連の工業には一定の基礎があり、装備製造業及び化学工業、冶金、電子等の分野では東北の各都市との間で広範な協力を展開することができる。さらに東北の企業と国内外の他地域との協同化の紐帯になることもでき、さまざまな製品の生産において東北内陸部に附属サービスを提供することもできる。

従来型工業基地振興計画において、私たちは重点建設を首尾よく遂行するための「四つの基地」を打ち出した。

一つは大型石油化学工業基地である。石油加工と精密化工を方向とし、大連石油化学及び西太平洋の二大石油精製企業に依拠して、500億人民元を投資して、エチレンをはじめとする石油化学工業区をめざす。具体的には双島湾石油化学工業パークを建設し、800万トンの精油及び130万トンのエチレン、PVC等の石化関連産品を發展させ、石油化学工業の集積効果をつくり出す。10年後には大連は中国最大の石油加工と石油化学産品の加工基地になるであろう。

二つには電子情報産業とソフトウェア基地である。デジタル機器、船舶、車両用電子、移動通信、光電子及び新型平板ディスプレイ、集積回路、コンピュータと外部設備、医療電子等7つの製品系列を重点的に發展させ、技術支援対応、産業規模化及び伝統産業の引き上げの3つのレベルについて、新しい国際電子情報産業への転換を請け負っていく。高い水準で企画した旅順南路ソフトウェア産業ベルトの建設を進め、これをソフトウェア及び知識情報サービス、高等教育及び関連業務訓練を主体とする新型のソフトウェア地区に成長させ、大連を国際的なソフトウェア

都市と北東アジアの重要な情報サービスセンターにする。

三つには先進的な装備製造業の基地である。大連機車、機床、重工・起重、氷山等の大型中核企業を対象にして、高度新技術と先進的な応用技術を用いて、軌道交通、NC工作機器、大型機械、自動車部品等の重点産業、中核企業を改造することによって、大連を国際競争力を備えた先進装備製造業の基地にしていく。

四つには船舶製造基地である。大連造船重工、新船重工の二大船舶工場を対象にして、大型タンカー、第5代コンテナ船、海上ボーリング調査プラットフォーム、FPSO（油生産貯蔵浮船）等の高度な技術を内蔵した、高付加価値の先端的産品に重点を置いて、国際的先進水準の造船基地を建設する。造船能力は2010年に730万トンに、2020年には1000万トンに到達したい。

四つの基地を建設する過程で、大連は東北の各都市、各企業との協力をすすめ、共同で東北工業の全般的な競争力を高めていきたい。

#### 4. 東北内陸部のために融資サービスを提供する

大連は中国東北地域において金融業が最も集中している都市である。現在8行の外資系銀行と2社の外資系保険会社が大連で営業しており、9行の外資系銀行と保険会社が大連に事務所を設置し、5行の外資系銀行が人民元で業務を行う許可を得ており、3行の外資系銀行が全面的な外貨業務を行っている。大連の金融機関と世界150行余りが所在する国家・地域が決算ネットワークを持っており、大連は中国北方地域で最大の国際決算センターとなっている。従来型工業基地振興戦略の実施に伴って、国内外の金融機関は目を東北に向けつつある。大連は持てる特徴を發揮して、国内外の金融機関と東北三省の間に融資ルートを開き、サービスプラットフォームを建設したい。

大連の金融サービス機能をさらに増強するために、私たちは現在、星海湾金融商業区の建設を進めており、先物取引ビル、金融ビル、商務事務所、国際会議センター、オフィスビルと商業サービス施設などがそこに含まれている。5年以内にすべてのプロジェクト建設を終え、10年以内には総合的な機能を整える予定である。100行以上の比較的規模の大きい金融機関と大企業を誘致し、1万人以上の金融と商務の専門家を集め、億兆の資金管理規模を実現する。それによって東北の従来型工業基地振興のために保険、金融、外貨取引と決算、投融资、国際商務等の面のサービスを提供したい。

#### 5. 東北内陸部のために商業貿易旅遊コンベンションサービスを提供する

大連の商業貿易旅遊業は比較的發達しており、東北内陸部により多くの商業貿易サービスを提供できる。現在、国内外のいくつかの大企業が大連に事務機構を設立し、これらの事務機構を通じて大連と東北内陸地域との間に長期的に国内外貿易に従事するネットワークシステムが構築されつつある。大連は国内の重要な旅遊都市として、毎年多くの大型国際商業貿易旅遊活動と各種の国際的な展覧会が開催され、国内外の多くの旅遊商業関係者が大連と東北に注目している。大連は東北地域の商業貿易活動のためにプラットフォームとなることができるし、また東北内陸部のためにより多数の商機を創造することができる。

私たちは東北の中心四都市及び国内外の特色ある旅遊都市と手を取り協力しあって、国際国内

市場を開拓し、旅遊産業の規模を壮大なものにしたい。星海湾のコンベンションセンター、金石灘旅遊レジャー地区のコンベンション機能を十分に発揮して、内外の多くの大型専門展覧会、高いレベルの会議、大型経済貿易文化イベントを開催し、東北地域のために対外交流窓口を提供し、東北地域の重要な商品展覧、受注、取引のセンターになりたい。

## 6. 東北内陸部ために情報コンサルタントサービスを提供する

大連は政治行政の電子化をはじめとして、速やかにかつ全面的に情報化建設をすすめ、情報化のレベルを向上させている。特に、東北地域のために物流情報ネットワークのプラットフォームを建設し、物流企業、物流活動の情報化のレベルを全面的に高め、東北内陸部のためによりよい情報サービスを提供したい。

大連が東北内陸部にサービスを提供する過程は、またそれによって自らが発展する壮大な過程でもある。現在、力を入れてサービス型政府と学習型都市を建設しつつある大連は、東北従来型工業基地振興のプロセスにおいても、やはりサービス型都市となる必要があり、東北内陸部に全方位的なサービスを提供することを通じて、大連と東北の共同の振興と繁栄を実現しなければならない。

市長、指導部各位、党中央が実施した従来型工業基地振興の戦略的政策は、東北地域の経済発展のために美しい未来を拓き、また私たち四市の緊密な協力のためにより広やかな舞台を提供した。私たちは四都市の間の科学技術、人材、産業、情報等の各領域の協力と交流をより強化し、徐々に協調一致による経済発展促進の政策環境をつくっていきたいと考える。私たちは手を携え心を一つにして、誠心誠意協力し、早期に東北従来型工業基地振興の実現のために新しい貢献を行おう。

（斎藤敏康訳）

## 改革を深化させ開放を拡大し、イノベーション型都市建設と地域協調を進める ——2006年・大連市第13期人民代表大会第4回会議における政府活動報告——

私は大連市政府を代表し大会に対し活動報告を行い、審議をお願いするとともに、大連市政协商会議委員各位に意見提出をお願いする。

### 1. 2005年と第10次5ヵ年計画期の活動回顧

2005年はわが市の従来型工業基地振興と「大大連」建設の鍵となる年であった。共産党中央委員会、国务院、共産党遼寧省委員会、遼寧省政府と共産党大連市党委員会の正確な指導の下、大連市政府は科学發展観を堅持し、全局面を統率し、全市人民を率い、チャンスを掴み、発展を加速させ、国民経済と社会事業において新しい成果を獲得し、大連市第13期人民代表大会第3回会議において確定した各項目任務を全面的に完成した。全市において、域内総生産は2290億元を実現し、前年比で14.2%の増加を、全社会固定資産投資では1110億元を完成させ、55%の成長を達成した。地方財政一般予算収入は151.4億元で18.7%の成長を、社会消費財小売総額は732億元を実現した。輸出124.3億ドル、22.4%成長、実現外資利用額30億ドル、36.4%成長を実現し、都

市住民平均可処分所得は1万1934元、農村平均純収入5900元と、それぞれ15%、15.6%成長した。2005年、我々は以下の活動を重点的に行った。

(1) 投入を増加し、全力で推進し、国際輸送センター建設を全面的にスピードアップした。

「大連東北アジア国際輸送センター建設計画（大連東北アジア国際航運中心建設規画）」に基づき、投入を増加し、重大インフラ設備建設プロジェクトの投資比率は前年比で66.8%増加した。50の港湾重大インフラ設備建設の歩調を加速し、大窑港コンテナ埠頭第2期工事の2つのバースの操業を開始し、2つのバースの主要工事を完成させ、第3期工事の建設を開始した。「一島三湾（大孤山半島と大窑湾、鲇魚湾、大連湾）」核心港湾区海上養殖整理プロジェクトを全面的に展開し、大窑港北岸堰が繰り上げ完成し、大連湾、大窑湾の航路改善・拡張工事と大窑港湾地区北防波堤プロジェクトは順調に進んでいる。大連湾の貨物用バース、保税区の自動車用埠頭などのプロジェクトも進捗は加速している。保税区・港湾連携モデルは着実に推進しており、保税港の申請手続きも始動し始めている。瀋陽、通遼、満州里内陸インランドデポ（干港）建設の進展は加速し、2つのコンテナ輸送ルートが新たに開通した。大孤山国際物流パークは国際積換え、配送、仕入れ、中継貿易機能をすでに基本的に備えている。水上輸送取引の市場サービス機能は絶え間なく改善されている。大連港東部港湾地区の移転は全面的に動き出している。大連港の貨物取扱量は1.7億トンで17.6%増加し、コンテナ取扱量は268.6万 TEU で、21.5%増加した。長興島開発の全体計画と3つの特定項目の計画編成を完成させ、公共港湾地区建設を全面的に開始し、関連インフラ設備建設を急速に推進している。煙大（煙台—大連）列車・フェリー、鉄道・埠頭主要プロジェクトが竣工し、土羊（大連甘井子土城子村—旅順羊頭洼港）高速道路、大窑湾の港連結高速道路、瀋大（瀋陽—大連）と丹大（丹東—大連）高速道路の連結線、そして金窑（金州—大窑）鉄道複線化建設が開始された。周水子空港の軍用から民用化への転換任務が進展し、空港第2期拡張工事も完成しており、南方・東方航空公司と戦略協力枠組み協議に署名し、12の国際航路が新たに開通し、空港旅客取扱量はのべ541万人に達し、17.2%増加した。デジタル国際税関建設の歩調は加速し、港湾検査、税関検査の連携協力がさらに強化され、「大通関」建設が新たに進展した。

(2) 重点を突破し、優位性を強化し、現代産業基地の形が出来上がった。

産業配置と構造の戦略的調整を推進し、工業投資程度を増大し、「四つの基地（大型石油化学産業基地、電子情報産業とソフトウェア基地、先進設備製造業基地、船舶製造基地）」、八大産業（石油化学、船舶、列車及び交通運輸設備、汎用機械及び基礎部品、大型設備、自動車及びエンジン等部品、電子情報及びソフトウェア、精密鋼材）集積と一連の重点工業プロジェクト建設を加速させ、工業経済をさらに強化した。重工・重機集団の鋳物鋁業の拡大と改造など373項目のプロジェクトが竣工し、1年間の工業投資は367億元、前年比で89%増加した。大連石化（集団）と西太平洋石化（集団）は生産能力拡大と改造により、基本的に3000万トンの製油能力を形成している。国家戦略石油備蓄基地の一部備蓄設備据え付けが始まっている。旅順南路ソフトウェア産業ベルトは順調に進展しており、国家級アニメ観光基地、光産業パークの55万 LED チップ用外延チップなどのプロジェクトの建設が始まっている。また、8つの世界500強ソフトウェア企業が大連に進出している。豊田工機創新自動車（汽車）部品、ドイツ FEV エンジン研究開発センターなどのプロジェクトも建設され生産を始めており、一汽フォルクスワーゲンの30万台乗用車用エンジン、大連ディーゼル DEUTZ（大柴道依茨）自動車エンジンなどのプロジェクトも建設を開始している。大型ト

ンネル掘削機など12項目の国家重点プロジェクトの設備開発事業を引き受け、設備製造業全体のレベルも新たに向上した。造船重工（大連造船重工有限責任公司）と新船重工（大連新船重工有限責任公司）を整理改組した大連船舶重工集団（有限）公司是中国造船工業の「旗艦」となっており、さらに中国遠洋運輸（Cosco）は30万トンの船舶修理ドックを基本的に完成させた。十大工業団地はインフラ設備投資30億元を完成させ、40項目の外資プロジェクト、112項目の国内投資プロジェクトを誘致し、産業集積の発展状況は良好である。大連鋼鉄集団、大連化工集団の移転改組作業は全面的に開始された。全市の一定規模以上の工業総生産高は2491億元で、23%、付加価値は21.2%増加した。ハイテク産業の生産高は1320億元、30.7%の成長であった。ソフトウェア販売高は100億元、輸出は3億米ドルで、それぞれ43%と50%増加した。「四つの基地」の産業牽引作用は強力で、総生産高は全市の一定規模以上の工業生産高の74.5%に達し、23.4%増加している。市所属国有大中型企業の株式会社制への改革は突破的進展を見せ、国有資産監督管理体系を基本的に確立し始めた。大連財産権取引所は省レベルの取引センターに昇格した。星海湾金融ビジネス区建設は全面的に推進され、先物ビル建設の進度も加速している。特色の有るコンビニエンス商業建設と「千村百鎮」市場プロジェクト<sup>1)</sup>は全面的に展開し、都市・農村流通現代化体系は絶え間なく改善され、わが市は全国「三緑プロジェクト」模範都市<sup>2)</sup>となった。1年を通し、受け入れた海外旅行客はのべ60万人、旅行外貨収入4億米ドル、旅行総収入210億元であった。123の各種展示会が開催され、取引成約額は323億元であった。

(3) チャンスを掴み、企業誘致を強化し、対外開放をさらに上の段階に引き上げた。

わが市は國務院弁公室36号文件の優遇政策を十分に利用し、企業・資本誘致活動を強化した。「WTO非公式閣僚会合」など20余りの大型国際会議を開催し、「韓国重点工業団地企業誘致説明会」など30余りの大型経済貿易活動を実施し、70余りの国・地域の400余りの重要経済貿易団体と、のべ10万人以上のビジネスマンを受け入れ、外国投資企業1058社、うち1000万米ドル以上のプロジェクト235社を呼び込み、多国籍企業の投資は明らかに増加し、ドイツフォルクスワーゲンなど17の世界500強企業が大連に新たに19の企業を開設した。また、多国籍企業の地域本部、研究開発センター、投資企業24社を新たに誘致した。サービス業の外資利用には新たな進展が見られ、421の新たなサービス業外資プロジェクト、外資契約額18.5億米ドルを達成した。先導区の牽引作用が増強され、新たな外資企業数、契約外資数、外資実現利用額はそれぞれ全市の47.9%、59.5%、58.1%を占め、大型プロジェクトの誘致は全市の72.3%を占める。輸出構造は絶え間なく高度化しており、機械電子製品、ハイテク輸出はそれぞれ輸出総額の44%と24%を占め、4つの輸出ブランドが国家ブランドの評価を受けている。対外経済貿易協力の歩調は加速しており、1年間で契約された対外請負と労務協力契約は820項目、契約金額は3億米ドルに及ぶ。国外企業19社、事務所4箇所が新たに設立された。

(4) 積極的に支持し、構造を高度化し、区域経済を急速に発展させた。

区域経済に対する支援程度を増大し、「三農（農業、農村、農民）」へ16.6億元を投入し、農村固定資産投資を86.7%増加させた。農林牧漁業及びサービス業の実現総生産高は340億元、15%の成長であった。農業構造はさらに高度化し、五大優位産業の占める比率は90%にまで高まった。農作物の質と効率・収益を高め、わが市の農産物の質・安全の全体的レベルは全国トップクラスである。有力な措置を採り、効果的に高病原性鳥インフルエンザの伝染を押さえ込んだ。農業産

業化経営の規模は拡大し、農産物加工龍頭企業34社が新たに発展し、省レベル重点龍頭企業が新たに10社増えた。農村の造林緑化生態建設は全面的に推進され、林木は1億株増加した。漁業は急速な成長を継続、維持している。積極的に県域工業団地の発展を支援し、ソフトローン26.7億元を手配し、11の政府投融資プラットフォーム、3つの中小企業プラットフォームを建設し、社会資金の投入を効果的に誘導し、農村工業化の程度、発展スピードを高め、県域経済に、多くの指標で長い間見られなかった、大幅な成長の良い形勢が出現し、36の郷鎮（街道弁事所）が全省の100強郷鎮に上り詰めた。1年間で新たに開設された民営企業は1万社余りで、国内投資150万元を呼び込んだ。民営経済の営業収入、付加価値、納税額はそれぞれ23%、21.5%、28.1%増加し、付加価値は全市GDPの51.2%に達した。

(5) 建設を加速し、環境を改善し、都市・農村建設は新たな一歩を踏み出した。

「大連市都市全体計画（大連市城市総体規画）」に基づき、都市インフラ設備建設を強化し、都市総合機能を全面的に向上させた。全市で都市建設重点プロジェクト162項目を準備し、109項目を完成させ、投資額200億元を実現した。泰山火力発電所を建設し、運転を開始させ、世界博覧広場、市水泳館も竣工、使用を開始し、庄河発電所も建設を開始し、紅沿河原子力発電所は「五通一平（水道、電気、道路、通信、ガスの整備と土地整備）」建設を実施した。「西拓北進」戦略の効果は明らかで、甘井子区の都市化の進展は加速し、旅順口区、金州区のインフラ設備建設の程度も増大している。城八（城子坦—八岔溝）線の瓦房店区間、海皮路第三期、大窑湾海鮎路、蓋亮線の改修・拡張工事、鶴大（鶴崗—大連）線大改修、及び黒大（黒龍江—大連）線模範路プロジェクトが竣工した。市街区域西部の道路開通、椒金山トンネル改修・拡張プロジェクト、高速軽軌鉄道金州線の全面建設を開始し、解放路等10本の幹線道路の拡張・改修を完成させ、勝利橋等3つの鉄橋建設を開始した。村の自動車道路1080.4キロを完成させ、218の行政村に自動車用道路が建設された。生態環境建設及び保護程度は強化され、都市計画環境アセスメント活動を始動させ、老虎灘と泉水2ヶ所の汚水処理場を建設し、凌水河など4ヶ所の汚水処理場建設を開始した。凌水河区域の環境総合整備を基本的に完成させ、大連化工の綿花島廃棄場プロジェクトは着実に進展している。排煙・粉塵総合処理程度を引き続き強化し、ボイラー203台、煙突165本を廃棄し、その上供熱ネットワーク面積は202万平方メートル増加した。高水準公共トイレを新たに150ヶ所建設した。市街区域に緑地90万平方メートルを新たに増加し、都市緑化カバー率は42.3%に達した。わが市は5年連続で全国開通プロジェクト評価1位を光栄にも獲得した。

(6) 民政を重視し、和諧（調和）を促進し、人民生活を絶え間なく改善した。

「人を以て基本とする（以人為本）」を堅持し、大衆が最も関心を持つ現実問題から出発し、一般民衆がより多くの実益を得られるようにした。都市就業16万人を達成し、都市登録失業率を4%以下に抑えた。1年間に待業・失業人員小額担保貸付1.8億元を支給し、5000人余りの自主創業を実現し、2361戸の無就業家庭で各家庭少なくとも1人を就業させた。都市・農村最低生活保障金を1年間で1.59億元支給し、都市・農村困難住民のべ127万人を救済した。市全体で慈善金9630万元を募り、20余の援助項目を実施した。「大連市農村住民最低生活保障弁法」を打ち出し、それにより108万人の農業人口が新型農村合作医療に参加し、農村最低生活保護対象全てが新型農村合作医療に加入した。国内において率先して、国家慰勞救済補助対象で、農村に居住する重点優撫（戦役者家族・軍人家族・傷痍軍人に対する特別待遇）対象者1.3万名を都市従業員医療保険に



加入させ、わが市の医療救済の経験は全国に普及した。旧市街区改修の程度を強化し、石門山、春華山などの旧居住区を移転・改修し、4.35万戸の市民の居住条件を改善した。54.9万平方メートルの経済適用住宅の建設を開始し、低家賃方式で840万戸の「双特困（職がないあるいは収入が低く、住居を持たないか持っていててもきわめて狭隘であるなど居住環境が悪い）」家庭の住宅問題を解決し、障害者困難住宅309戸を解決した。1.8万戸の家庭のために22億元の住宅積立金貸付けを実施した。804本、151万平方メートルの市街地道路の改修を完成させた。甘井子区の50本の街灯のない道路に街灯を設置した。市街区を改修し、ガス管網43.2キロを新たに建設し、3万戸余の住民住宅ガス敷設を解決した。供熱面積396万平方メートルを新たに増設した。二次加圧ポンプ場318か所を接管管理し、住民室内給水管網の改修と5万戸のメーター設置を実施した。2200万元を投資して機械化環境衛生清掃設備を購入、設置し、都市区域の道路機械清掃率は13%から40.3%に高まった。179の農村の飲料水プロジェクトを新たに実施し、20.3万人の飲料水問題を解決した。5000万元の安全生産特定項目資金を設立し、食品、薬品、特殊設備などの安全生産監督体系を構築した。

(7) 統一的に計画し、（経済と社会事業の）両方に配慮し、発展を協調させ、各社会事業を全面的に進歩させた。

過去1年間、各レベル政府は経済と社会事業の協調発展をさらに重視した。1年間で462の科学技術計画項目を実施し、5573件の特許申請を行い、54の国家と省の科学進歩賞を獲得した。最高科学技術賞と科学技術功労賞を新たに設立した。清華光洋デジタル制御技術工程化連合実験室が設立された。わが市は全国第1番目のソフトウェア著作権保護モデル都市となった。都市と農村の学校運営条件と教育レベルは新たに向上し、高校段階の学生入学率は91.5%に達した。1000万元の特定項目資金を設立し、都市区域義務教育のバランスのとれた発展を促進し、2300万元の特定項目補助を投じて農村中・小学校公用経費に充てた。8000万元を投入し、全市をカバーする遠隔教育ネットワークを初歩的に建設し、中・小学校情報化プロジェクトは重要な進展を得た。聾啞学校と障害者職業技能訓練センターを建設、開校させ、旅順大学パークの関連プロジェクトは基本的に完成し、遼寧師範大学新キャンパス、瀋陽音楽学院と魯迅美術学院大連キャンパスの建設が開始した。「人材強市」戦略の実施を深化させ、1.6万人の国内外の人材を呼び込み、94の国家外部人材登用項目を完成させ、のべ8万人の各種専門技術人員を訓練した。文化事業はさらに繁榮し、大連芸術学校は3つの国際大賞を獲得し、庄河市は全国文化先進地域として評価された。ラジオ・テレビ人口カバー率は99%に達した。22万戸の有線テレビデジタル化全体移行を完成させた。公共衛生体系3年計画建設を開始し、2.7億元の市財政資金を投入し、67か所の郷鎮衛生院、5か所の救急センター分室、27の救急ステーション分室、6か所の女性・小児保健院を新設・改修し、農村医療衛生インフラ施設は明らかに改善した。新伝染病病院、薬品検査所ビル主要プロジェクトが完成した。低出産レベルを引き続き維持し、一人っ子（計画生育）率は99.46%、人口自然増加率は-0.02%であった。体育事業は盛んに発展し、第3回国際競歩大会、第19回国際マラソン大会と第10回大連市運動会を成功裏に開催し、大連実徳チームは中国スーパーリーグとサッカー協会杯で優勝を勝ち取り、実徳女子サッカーは全国選手権大会で優勝を勝ち取った。新聞出版、民族、宗教、人民（民間）防空、華僑事務、対台湾、婦女・児童、障害者、高齢者、民兵そして予備役等の業務は全て喜ばしい成績を獲得した。

(8) 創造を以て建設を促し、法に基づき管理を行い、精神文明、民主法制、そしてサービス型政府の建設の効果が明らかである。

文明都市創建活動が全面的に展開され、全市人民の協力と努力を経て、わが市は第1回「全国文明都市」の称号を名誉にも獲得した。共同と建設の2つを擁する活動は新しい成果を獲得し、わが市の軍人の妻が社区に入る活動の経験は全国に広まった。各レベル政府は人民代表大会、政治協商会議、そして人民大衆の監督を、自覚を持って受け入れ、各民主党派、工商業連合会、無党派人士が政治に参加し、意見・提案を述べる役割を十分に発揮させ、1361件の市人民代表の建議と政治協商会議の提案が処理された。市政府と市総工会の合同会議制度が正式に始まり、共産党青年団、婦女連合会等団体組織の活動を積極的に支持している。行政法律執行責任制と法律執行過失追及制を全面的に実行し、「第4期法律普及5ヵ年計画（四五普法）」と法に基づく市統治活動の程度を強化し、「大連市法律援助弁法」を打ち出し、民主法治モデル村、モデル社区建設活動の効果は明らかである。監察を強化し、監督を精査し、1年間で政治規律違反の公務員256人を処罰した。引き続き各種犯罪活動を厳格に取り締まり、社会治安の総合管理を強化し、各種矛盾を適切に処理し、全市の政治、社会を安定させた。「大連市国民経済と社会発展第11次5ヵ年計画綱要（草案）」と11の特定プロジェクトの計画編成作業を完了させた。行政許可項目を引き続き削減、調整し、職能の重複を調整し、政府部門の役割をさらに規範化し、サービスレベルと行政効率を絶え間なく向上させた。記者会見制度を打ち立て、政務公開を強化した。全行程での処理代行制、ネット審査・許可等の経験を広め、全市の「ワンストップ式」サービスの効率とレベルをさらに高めた。大衆の投書や来訪を誠実に処理し、全市の投書・陳情処理率は95%に達した。各代表の皆さん、2005年は10・5計画の最後の1年である。5年来、わが市は堅く発展を第一の重要な任務とし、一心不乱に建設を行い、一意専心に発展を求め、国際経済の低迷、エネルギーの不足、SARS等不利な要素の影響を克服し、経済と社会の全面的協調、持続可能な発展を維持し、都市機能を全面的に改善し、人民生活レベルを絶え間なく向上させ、国内外の影響が日増しに拡大するなか、10・5計画の各目標と任務を円満に完成した。5年間、わが市の域内総生産は累積で8526億元を実現し、年平均14.3%で成長した。地方財政一般予算収入は573億元、全社会固定資産投資3000億元余り、社会消費財小売総額2908億元を実現し、第9次5ヵ年計画期に比べそれぞれ103.6%、140%、68.5%成長した。外国貿易輸出は440億ドルで、9・5計画期に比べ87.8%増加した。実現の外資利用額は107.8億米ドルで、改革開放以来の総額の53.9%を占める。港湾取扱量は億トンレベルの大港湾に名を連ねるようになった。一定規模以上（企業）の工業付加価値は9・5計画期に比べ1.3倍増加した。非公有経済の付加価値は全市経済総量の半分を超え、区・市・県に80%の財政収入をもたらした。都市・農村建設は重大な成果を獲得し、「引英入連（英那河ダムから大連への）」給水プロジェクト、30万トン級の原油埠頭、30万トン級の鉱石埠頭、鉄道駅と空港の改修・拡張、都市高速軽軌鉄道交通など一連の重大インフラ設備建設項目を完成させ、都市機能は明らかに向上し、総合経済力も明らかに増強された。科学技術、教育、文化、衛生、体育等の各社会事業も全面的に進歩した。人民生活は絶え間なく改善し、10・5計画期末には、都市住民平均可処分所得と農民平均純収入はそれぞれ9・5計画期に比べ1.7倍、1.6倍になった。各代表の皆さん、過去5年、大連は人々を鼓舞するような大きな変化を遂げ、これは共産党省委員会、省政府、共産党市委員会の正しい指導の結果、全市人民が団結、奮

闘し、切り開き、つかみ取った結果であり、また歴代の共産党市委員会、市政府が築いた基礎によるものである。ここに、私は市政府を代表し、各領域、職位において無私に奉仕し、勤勉に働いた同志諸君に対し、心からの敬意を表す！ また、政府の活動に多大な支持を与えた人民代表大会代表、政治協商会議委員及び各民主党派、工商業連合会、無党派人士に対し、政府活動に関心と支持を与えた退職者の皆さんに対し、中央・省直属各部門と友好省市の駐大連機構に対し、駐大連部隊と武装警察の士官・兵士に対し、そして大連の建設発展に関心と支持を寄せて下さった全ての国内外の友人に対し、心からの感謝を述べる！ 代表の皆さん、我々は過去5年の成果に対し誇りを感じる理由があり、同時に大連は正に新しい発展の時期にあるのだということをはっきりと認識している。我々は世界経済、東部沿海経済そして東北振興の大きな枠組みのなかで大連の発展と進歩をじっくりと観察すべきであり、発展において存在する困難と問題を直視しなければならない。第1に、経済運行の質が十分に高くなく、経済成長方式が粗放的であり、経済構造が合理的とは言えない状況は、未だ根本的な改善がなされていない。第2に、企業の自主イノベーションの原動力と能力が不足しており、自らの知的財産権や有名ブランドを持つ製品は少ない。第3に、環境と資源の、わが市の経済社会の急速な発展に対する制約は強まっており、資源節約と環境友好型社会を建設する任務は重い。第4に、都市就業と再就業圧力が依然として大きく、収入分配も合理的とは言えず、都市・農村公共事業の発展がバランスを欠いている問題は依然として突出している。第5に、投資のソフト面での環境にさらに改善が必要で、一部政府部門の公共サービスと社会管理能力が十分ではない。これらの問題に直面し、我々は克服と解決に自信を持っており、発展方法に立脚点を置き、これら矛盾と困難を解決するものである。

## 2. 第11次5ヵ年計画の発展目標と2006年の政府重点活動任務

各代表の皆さん、これからの5年は経済が急速に成長し、社会構造が急速に転換する重要な歴史的時期である。我々は得がたい発展のチャンスに直面し、また厳しい挑戦にも対応しなければならない。経済グローバル化の加速、国内経済の持続的発展、従来型工業基地振興戦略の実施は、全面的に大連の比較的早い発展を促すだろう。対外開放のさらなる拡大と東北アジアの重要な国際輸送センター建設の全面的推進は、大連が国際協力と競争に広範に参加するにあたり、さらに多くのビジネスチャンスを提供するだろう。改革が絶え間なく深化し、社会主義市場経済体制が着実に改善されることは、大連の発展の加速に強力な体制保障を提供するだろう。人民生活レベルが絶え間なく向上し、消費需要が急速に増加し、消費構造が広く切り開かれ高度化することにより、産業構造の高度化に巨大な発展空間が提供されるだろう。和諧（調和のとれた）社会の構築と精神文明、政治文明、民主法制建設の推進により、全市人民の創造意欲と活力がさらに呼び起こされるだろう。同時に、経済社会の急速な発展に伴って、資源・環境制約は大きくなり、総供給と総需要のアンバランス、ミクロ経済の低効率などの体制的、メカニズム的、構造的矛盾と問題がさらに突出するだろう。我々は十分な認識を持ち、歴史的責任感と緊迫感を強め、強烈な憂慮意識を打ち立て、チャンスを掴み、挑戦に挑み、発展を加速させなければならない。11・5計画期のわが市の全体的発展構想は以下の通りである。

鄧小平理論と「三つの代表」重要思想を指導として堅持し、科学発展観で全局面を統率し、東北従来型工業基地振興と対外開放のさらなる拡大という2つの重要なチャンスをしっかりと掴み、

東北アジア国際輸送センター、新型産業基地そして社会主義新農村を建設することを重点とし、改革を深化させ、開放を拡大し、経済構造調整を加速させ、経済成長方式を転換し、全面的に和諧社会を建設し、全市の総合経済力、自主イノベーション能力そして国際競争力を向上させる。

主な発展目標は、5年間で、域内総生産の成長を年平均13%前後とし、GDP単位（1万元）あたりの総合エネルギー消費と水資源消費を20%以上引き下げる。地方財政一般予算収入の年平均増加率を13%前後とする。全社会固定資産投資年平均増加率を16%前後、社会消費財小売総額年平均増加率13%前後、外国貿易輸出総額年平均増加率を15%前後とする。都市・農村住民収入レベルをGDP成長と同じスピードで増加させるよう努力する。2010年までに、港湾年取扱量は2.5億トン程度に、コンテナ年取扱量を800万TEUにまで増加させ、国内沿海港湾ベスト5入りを果たす。都市登録失業率を4%以内にコントロールする。年人口出生率と人口自然成長率をそれぞれ6.8%と0.64%内に抑える。11・5計画期末までに、従来型工業基地の全面的振興を率先して実現し、社会主義新農村建設を、そして社会主義現代化を率先して基本的にも実現する。市政府が制定し、共産党市委員会第9期第11回全体会議の議論を経た「大連市国民経済と社会発展第11次5ヵ年計画綱要（草案）」を本会議に提出し、審議をお願いする。

2006年は11・5計画の最初の年であり、政府活動の総体的要求は、以下の通りである。党の第16回大会、第16期第3、第4、第5回中央委員全体会議、そして中央及び省経済活動会議の精神を誠実に貫徹し、改革を深化させ、開放を拡大し、イノベーション型都市建設を推し進める。経済構造調整と経済成長方式の転換を加速させ、経済成長の質と効率を高めるよう努力する。大プロジェクトの波及効果を強化し、「一つのセンター、四つの基地」建設の進展を速める。地域協調発展を堅持し、社会主義農村建設を着実に推進する。主要な目標は、域内総生産成長13%、努力目標としては14%、GDP単位あたりエネルギー総合消費と水資源消費を4%、努力目標としては5%引き下げる。地方財政一般予算収入を13%、努力目標としては14%増加させる。固定資産投資を20%、努力目標としては30%増加させる。社会消費財小売総額を13%前後、外国貿易輸出成長を15%程度、外資利用額を30%程度、都市住民平均可処分所得と農民平均純収入をそれぞれ13%程度増加させ、都市登録失業率を4%以内に抑える。

上記の目標を完成させるために、以下の活動を重点的に行う。

(1) 国際輸送センター建設を加速し、都市サービス機能を全面的に向上させる。輸送センター中核機能区の建設を加速する。

保税區自動車埠頭、大連湾貨物埠頭そして大窑湾第2期の4つのバース、第3期の2つのバースのプロジェクトを完成させる。第2の30万トン石油埠頭と鉍石埠頭第2期建設を全力で推進する。大窑湾北岸開発の進捗を速め、北部海域の整理と北岸立ち退き作業を完成させる。大連湾航路、大窑湾北防波堤の主要工程を完成させる。長興島開発建設を加速させ、長興島大橋、公共港湾区水道・電気整備、そして3つの埠頭の水利工事建設を完成させる。大型水深専門埠頭と島への鉄道の第1期工事の推進を加速する。大連港東部港湾地区移転作業を完成させる。大窑湾の港連結道路、土羊高速道路建設の推進を加速する。煙大鉄道・フェリープロジェクトを竣工させ、利用を開始する。哈大（ハルビン—大連）旅客専用鉄道の立ち退き作業を開始する。東部鉄道及び庄岫（庄河—岫岩）鉄道前期工事を推し進める。金窑複線は年度建設目標を達成する。空港建設を加速し、国際航路5線を開通させ、日本、韓国直行便と北京、上海等国内大都市便のフライト

の密度を高める。大連港は互いに利益と成果を分け合う（win-win）という原則に基づき、周辺の港湾との強力を強化し、共同で国際輸送センターの全体的枠組みを形成するよう努力する。地域と港湾の協力を強化し、地域と港湾の連携モデルを開拓し、保税物流業務と国際税関物流業務の調整を推進し、大窑湾南岸コンテナ埠頭、自動車埠頭及び後方区域をモデル範囲に組み込み、保税政策と機能を石油製品、食糧、鉱石等専門港湾にまで拡張する。保税物流ネットワークと運営メカニズムを構築し、東北後背地内陸インランドデポ（干港）との連携を推進し、大連国際税関の輻射力を絶え間なく高める。大連保税港湾の申請成功を勝ち取る。現代サービス業を大いに発展させ、整った都市総合サービス機能と国際輸送センター支援体系を構築する。星海湾金融ビジネス区建設の推進を加速し、先物ビルは年内に主要建設を終え、後続プロジェクトを始動させる。各種内外の金融機関と多国籍企業の管理本部を積極的に誘致し、CITIBANK、チャータード銀行、ABM AMRO 銀行誘致活動を実現させる。保税物流産業団地、北方食糧物流センター、大連陸海物流基地、香炉礁物流産業団地等の物流ネットワークを十分に利用し、後背地資源を開拓し、物流分配・配送センターを建設する。商業・貿易・流通業の現代化と国際化レベルをさらに高め、多国籍企業の駐大連地域本部設立、国境を越えた商品仕入れセンター、物流配送センターを重点的に誘致する。チェーン経営、物流配送、特許経営そして電子ビジネスを代表とする現代物流方式を継続して推進し、社区商業サービスネットワークをさらに改善する。星海コンベンションセンター、世界博覧広場及び金石灘観光リゾート区のサービス機能を十分に発揮させ、会議・展覧会と観光業の発展を促進する。中国国際縫製・紡績品博覧会、輸出入商品交易会等大型国際展覧会を成功させる。国内外の観光市場を積極的に開拓し、観光製品を創造し、1年間の海外観光客受入を14%増加させ、外貨獲得の14%成長を実現し、観光総収入を16%増加させる。

(2) 自主イノベーション能力を育成し、経済成長方式を適切に転換させる。

「国家中長期科学技術発展計画綱要」を全面的に貫徹し、自主イノベーションを大いに推進し、イノベーション型都市を建設する。比率に基づき科学技術研究開発への投入を毎年増加させる計画で、企業の研究開発経費増加を積極的に導き、奨励し、多様な公共科学技術支援プラットフォームを構築し、10のテクノロジー・技術研究センター、重点実験室と企業研究開発センターを設立し、科学技術分野での創業とベンチャー投資総規模を前年比で50%増加させる。ハイテク産業団地技術イノベーションプラットフォーム建設を加速する。科学研究院と大学の研究開発、人材優位そして企業の生産優位を十分に発揮させ、中央科学院大連科学技術イノベーションパークを建設し、5つの二次科学技術ベンチャー（孵化）産業基地を新たに建設する。知的財産権保護を強化し、特許申請数6500件突破を目指す。「四つの基地」の優勢中核企業を支援し、一連の産業連携度が高く、牽引能力の強い大プロジェクトに力を入れ成功させる。石油化学川下産業の発展推進に努力し、100万トンエチレン・プロジェクト前期工事を継続推進する。国家半導体照明工程産業基地、旅順南路ソフトウェア産業ベルトそしてアニメ観光産業基地建設の推進を加速し、50項目の自主知的財産権を持つソフトウェア製品を育成する。船舶用クランシャフト、風力発電設備、デジタル制御旋盤、及び機能部品等の10の国家重大技術設備プロジェクトの開発と取り組みに力を集中し、わが市の設備製造基地から先進設備研究製造基地への転換を加速する。造船能力と関連能力の拡大を継続し、船舶用ディーゼルエンジン、船舶用スクリューの生産能力拡張・改造を重点的に推進する。中国遠洋（Cosco）造船の大連移転を全力で推進する。同時に、縫製、生物

製薬、家具、新型建材、農作物高級加工などの、市場潜在力が大きく、競争優位を持つ一連の消費財製品の発展を奨励、支援する。循環経済を大いに発展させ、開発区循環経済モデルと七賢嶺産業化基地の高度化と改造作業を成功させ、一連の循環経済重点プロジェクトを推進し、モデル工程を樹立する。重点エネルギー大型消費企業の省エネ改造と審査管理を強化し、工業のGDP単位あたりの総合エネルギー消費を引き下げ、資源節約と综合利用により3億元の利益効果を生み出す。海水淡水化、再生水の利用、建築省エネ等の新技術、新技術工程の普及・利用と、太陽エネルギー、風力発電、水源熱ポンプなどの省エネ製品の開発と応用をしっかりと行い、製品エネルギー標準指標体系を構築し、省エネ製品ブランドを発展させる。循環経済の理念で工業調整・改造を指導し、経済成長方式の粗放式から集約式への転換を促進し、経済運営の質と企業経済効率を高める。

(3) 社会主義新農村建設を着実に推進し、県域経済の全体的発展を促進する。

農村生産力レベルの向上と農民収入の増加を重点中の重点とし、それぞれの農村支援・農村優遇政策措置を継続して実行し、農村への投入を増加させ、農村固定資産投資の20%増加、農林牧漁業及びサービス業の生産高15%増加を実現する。「生産を発展させ、生活を豊かにし、農村風土を文明的にし、農村の容貌を美しく整備し、管理を民主的なものとする（生産発展、生活寛裕、郷風文明、村容整潔、管理民主）」要求に基づき、社会主義新農村建設を推進する。わが市の社会主義新農村建設実施綱要を制定し、いくつかの農村先行モデル地域を選ぶ。モデル活動に対する指導を強化し、標準を確定し、建設を規範化し、徐々にそれらを普及させる。農村の科学技術、教育、文化、衛生事業への投入を増加させ、農村の各社会事業の発展を促進する。農業設備建設を強化し、農村の経済構造を調整する。節水型農業灌漑面積を6万畝（1畝=6.667アール）にまで発展させる。規模化牧畜業飼育団地100カ所、果樹園20万畝、保護地8万畝を新たに発展させる。6カ所の現代化花卉産業団地と10カ所の規模化輸出基地を建設する。漁業分布と構造調整の6つの「百万プロジェクト」<sup>4)</sup>を継続して実施し、漁港と漁業支援体系の建設を強化する。五大林業プロジェクトを全面的に開始し、庄河銀石灘国家級森林公園と、瓦房店龍門湯、甘井子大黒石省レベル森林公園を建設する。農業の産業化経営の推進を加速させ、龍頭企業の強化、大型化をさらに進める。各種農民合作経済組織、仲介サービス組織、農作物輸出仲買人を大いに発展させる。農業の規格化生産を実施し、農作物品質安全定例モニタリングと情報公開活動を展開し、農作物認証認可活動を強力に推進し、農作物市場参入制度を改善する。科学技術農業振興計画を深化させ、農業科学技術普及体系を改善し、十大増産技術を継続実施し、農業新品種、新技術の導入と普及程度を強化する。県域経済発展を加速させ、自主成長能力を向上させる。工業分布の調整に合わせて、大プロジェクトの区・市・県工業団地への移転を継続して誘導し、農村工業化の進展を加速する。北三市（瓦房店市、普蘭店市、庄河市）開発を継続して推進する。農村の給水、電力供給、交通などのインフラ設備建設の支援程度を強化する。都市・農村対口支援活動（援助を行う都市と援助を受ける農村を選定し、組み合わせ、援助を行わせる）を行い、都市の科学技術、教育、衛生等の人材が農村へ行き働くことを奨励し、誘導する。小規模都市と重点鎮の発展を支援し、郷鎮ゴミ・汚水処理管理体系を徐々に構築し、農村の都市化の進展を加速する。わが市の第二次全国農業センサス事業を誠実に成し遂げる。

(4) 生態居住適応（生態宜居）都市の基準に基づき、都市建設と管理レベルを向上させる。

大連都市建設の良好な基礎とブランド優位を十分に発揮し、生態環境が良好で、関連設備が整い、ビジネス環境が優れており、都市管理が規範化されているという目標に従って、生態居住適応型都市の建設を加速する。全市において201の都市建設重点項目を準備し、投資257.9億元を計画、完成させる。「西拓北進」戦略の実施を加速し、主要市街地区の甘井子区への拡張を重点的に推進し、水・電気・ガス・道路ネットワークなど都市インフラ設備建設を実行し、主要市街地区の機能を改善、向上させる。交通インフラ設備をさらに改善し、西部道路、明珠路第1期、朱棋路、新椒金山トンネル、3つの跨線橋の改修・建設などのプロジェクトを完成させる。高速軽軌鉄道金州線建設の進度を加速し、西北路等10本の中心市街地区交通幹線道路を拡張・改修し、新たに3本のバス路線を開通させ、201号線路面電車の改修・建設プロジェクトを開始する。新旧市街地区第2道路プロジェクトの前期工事を開始する。沿岸道路建設を開始する。村の自動車用道路800キロを完成させ、村々の自動車道路化を全面的に実現する。中心市街地区建設と管理をしっかりと行う。国際観光港とビジネスセンターの構想に基づき、大連港東部港湾地区の開発と建設を全力で推進する。南北復興路、石門山、春華山等旧地区取り壊し・立ち退き後の計画建設と総合開発を加速する。計画中の旧地区改造のほかに、旧市街区「ゼロ開発」原則を堅持し、大連特有の都市の風格と建築の歴史をしっかりと保護する。生態環境建設と保護を高度に重視する。甘井子工業区環境総合整備を全面的に推進し、大連鋼鉄、大連化工の全体移転の進度を加速し、31の鉱山を閉鎖し、鉱山区域閉鎖計画と整地を高い水準でしっかりと行う。磴夏河、梭魚湾、河口湾、凌水湾地域、朱棋路両側、綿花島廃棄場及び周辺工業区の環境に対し総合整備を行う。凌水河汚水処理場を建設し、馬欄河汚水処理場第2期、春柳河汚水処理場第2期、夏家河汚水処理場及び各汚水処理場の関連プロジェクトを加速し、市区生活污水集中処理率を10%高める。都市生活ゴミ焼却場建設を開始する。煤煙区域総合整備の程度を高め、ボイラー解体除去と（熱供給）ネットワークの合併作業を継続してしっかりと行う。汚染企業排污許可証制度を実施する。梭魚湾公園、西山と西郊森林公園の建設を開始する。都市緑化・美化レベルを向上させ、市街地区に50万本の植樹を行い、公共緑地150万平方メートルを新たに増やし、緑化被覆率42.8%を達成し、1人あたり公共緑地面積を10.6平方メートルにまで増やす。泰山火力発電所第2期、香梅火力発電所第2期、甘井子火力発電所等のプロジェクトの建設を開始する。大沙溝浄水場改修作業を完成させ、三道溝浄水場第1期改修プロジェクトを開始する。旅順南、北路及び周水子空港給水プロジェクト建設を実施する。大伙房ダム引水プロジェクト前期工事を加速する。73キロの給水ネットワーク改修任務を完成させ、5万戸の住民室内水道管を改修し、二次加圧ポンプの改修を全面的に完成する。ガス新工場第2期プロジェクトの建設を開始し、40キロのガス管ネットワークの敷設と改修を完成させる。都市管理業務の程度を強化する。道を占拠しての経営、公告の違法設置、自動車の違法駐車、戸外に勝手にものを置くなどの問題を総合的に処理する。国家開通プロジェクト評価において引き続きわが市のトップの地位を保持する。

(5) 外資利用規模をさらに拡大し、対外開放レベルを全面的に引き上げる。世界的観点で、わが市の経済の全面的開放を推進する。

先導地区の対外開放における牽引作用を十分に発揮する。開発区はその発展空間をさらに広げ、国際的大企業の重大製造業プロジェクトの誘致に力を入れ、（電算）チップ、自動車及び部品製造において進展に努める。ハイテク産業団地はイノベーション体系の建設を重点とし、積極的に

研究開発能力を育成し、国内外の研究開発機構と、情報と生物技術、ソフト産業、情報サービス業などハイテク産業を重点的に誘致する。保税區では現代物流業と港湾運輸、国際貿易及び臨海加工工業を重点的に誘致し、国際物流パーク建設を加速する。各区・市・県はすでに始動している工業団地を十分に利用し、全市の産業計画に基づき、企業・投資誘致を全面的に展開し、国際・国内の産業移転を誘致し、外向型経済発展を先導する。市内各地区は現代サービス業誘致を全力で推進し、ビル経済と本部経済を大いに発展させる。一連の新しい都市建設を結合し、不動産業の外資利用程度を増加させ、都市建設の国際化レベルを高める。外資利用の質をさらに高め、外資の国有企業改革、都市インフラ設備と公共設備建設への参加を誘導する。さらに多くの多国籍企業のわが市での研究開発センター、技術サービスセンター、物流買付けセンターそして地域本部建設を誘致する。輸出製品構造をさらに高度化し、自主知的財産権、自主ブランドをもつ商品の輸出を拡大し、機械電子製品とハイテク製品の輸出比重を高め、大型プラント、船舶、石油化学、通信電子等の製品輸出を積極的に促進し、輸出製品とサービスに含まれる技術及び付加価値を絶え間なく高める。国際経済・貿易協力をさらに強化し、中核となる優勢企業の「走出去（中国企業の対外進出）」発展を支援する。国外技術貿易障壁に積極的に対応し、国際的通用ルールに基づき、技術貿易措置体系構築を加速する。

(6) 各改革の推進を深化させ、重点領域と鍵となる部分において新たな進展を獲得する。

行政管理体制の改革を引き続き推進し、政府機能の転換を加速し、部門内設置機構の整合性と合理化を図り、政府の管理機能を市場主体のサービスと創造のために良好な発展環境を提供できるものへと適切に転換させる。公共財政体制を健全化、改善し、部門予算、政府収支分類、国庫集中収支等財政制度改革をしっかりと行い、財政成果評価体系を徐々に構築する。商業銀行の地域を越えた経営を推進し、農村合作銀行の組織作業を完成させ、商業保険の社会管理参加の有効な形式を模索する。投融資体制改革を加速させ、「大連市企業投資項目審査許可弁法」等関連文書を打ち出し、政府の投資政策の決定と計画、手続きを規範化し、政府投資項目の入札審査許可、投資責任追及と社会監督等の制度を構築する。政府の非営利投資項目の建設委託制モデル事業を遂行する。投融資のプラットフォーム建設を強化し、政府系投資企業を整理、改造し、資本運営能力を増強し、全市の重要な産業と公共インフラ施設の発展のためにさらに多くの資金を調達する。空港、鉄道等のインフラ設備建設の融資社会化を加速し、投資主体の多元化を実現する。市所属国有大型企業の株式制改革を引き続き推進する。工商大型企業の改革任務を全面的に完成させ、公共事業部門の改革において重大な進展を獲得する。国有大型企業と国際的大企業、国内優勢企業との戦略的協力関係の構築を促進し、多元的な投資主体を形成する。企業法人のガバナンス構造をさらに規範化、改善し、外部取締役と監査会派遣制度を健全化する。大連港株式会社等企業の上場作業を全力で推進し、株式所有権分置（流通株と非流通株に分ける）改革をしっかりと行う。国有資産監督管理体系をさらに改善し、国有資産運用機関の構築を加速する。事業単位の改革を積極的に、確実に推進する。行政管理事業単位の改革モデル事業を開始する。公共衛生体系の改革を深化させ、新型農村合作医療制度を全面的に推進し、農村社区卫生サービスモデル地域を徐々に拡大する。文化体制改革を積極的に推進し、マスメディアにおける広告、印刷、映画・テレビ制作部門を事業体制から徐々に切り離す。民営企業の国有企業改革への参加を奨励し、市場参入条件を緩和し、民営企業のためにさらに大きな発展空間を創造する。政府各部門は仕事



ぶりを改め、仕事の効率を高め、民営企業に良好なサービスを提供し、民営企業の仕事がしにくい、融資を受けにくいといった問題を解決しなければならない。民営経済の発展を奨励し、支援する法制度、政策、体制環境をさらに最適化する。民営経済を発展させる「三つの一」プロジェクトを<sup>6)</sup>引き続き実施する。民営企業の付加価値、営業収入、納税等の指標を15%以上引き上げ、固定資産投資、外資実現利用を20%増加させる。中小企業を新たに1万社設立し、一定規模以上の工業企業を200社新たに増加させる。

(7) 市民のために具体的に仕事を行うよう努め、人民大衆の生活レベルを絶え間なく向上させる。

人民大衆の生活に関する重要な問題を、今年の人民のために具体的に仕事を行う（為民办实事）プロジェクトに盛り込み、改革と発展の過程における人民大衆の切実な利益問題を誠実に解決する。積極的で有効な措置をさらに採り、都市・農村住民の収入レベル引上げに努力する。積極的な就業政策を実施し、就業と再就業をあらゆる手を尽くして拡大し、14万人の就業・再就業を実現する。職業資質向上プロジェクトを強力に実施し、一般特惠制（普惠制）職業訓練を展開し、就業の質を高める。労働契約制度と集団協議、集団契約制度を積極的に確実に遂行し、多層的労働争議調停体系を構築する。社会保障制度をさらに完全なものとし、基本養老保険カバー率の範囲を拡大し、失地・失海農民の社会保障制度を徐々に構築する。都市と農村の住民生活条件の改善に努力する。経済適用住宅50万平方メートルを建設し、1000戸の「双特困」家庭の低家賃住宅問題を解決する。農村の特別困難大衆と貧困障害者の危険な住宅1500戸を改修する。社会救済、社会福利そして慈善事業を相互につながり合わせた社会救済体系を健全化し、改善する。都市困難住民基本医療救済制度をさらに改善する。社会福利事業の社会化の進展を加速し、市の老齡福利産業団地建設プロジェクトを開始する。農村地域センター敬老院25カ所を建設する。100の農村飲用水プロジェクトを新たに実行する。市場秩序の整頓と規範化を深化させる。食品や薬品に対する監督を強化し、食品安全保障体系を改善し、「三緑」プロジェクト、食品安心プロジェクトそして農村薬品供給監督ネットワーク建設を引き続き深化、推進させ、食品、飲料、水産品、観光等に対する市場管理を重点的に強化し、偽公告に対する処罰程度を強化し、市民の消費安全を保障する。出国労務、留学、人材、婚姻仲介市場に対するルールと監督を強化する。「赤い盾で農民を保護する（紅盾護農）」活動<sup>8)</sup>を展開し、化学肥料、種子、農薬に対するディレクトリ管理制を全面的に実行し、農民利益を適切に保護する。

(8) 各社会事業を強力に発展させ、和諧社会構築のために良好な基礎を築く。

教育を優先発展項目と位置づけ、それを堅持し、市街地域の義務教育のバランス発展を引き続き推進し、農村地域全体で義務教育費免除を実行する。職業教育を大いに発展させ、6つの職業教育重点実習訓練基地を建設し、職業教育困難学生支援範囲を拡大する。教育インフラ建設をさらに強化し、大連一中、二十四中学の旧校舎改修と第十五中学の移転新設作業を完成させる。各高等教育機関の建設と発展を引き続き支援する。人材強市戦略の実施を加速する。人材関連政策を健全化し、中高レベルの経営型、創業型、技能型人材と国内外の人材の登用を強化し、農村の科学技術、教育、衛生そして実用型人材の登用と育成を重点的に強化する。海外学生の創業ウィーク活動を引き続きしっかりと行う。高等教育機関卒業生の就業指導活動を強化し、区・市・県卒業生就業指導サービス機関の建設を推進し、卒業生の農村や基層組織への就業を誘導する。公共衛生と医療サービス体系の建設を強化し、医療資源の整合性と高度化をはかる。疾病制御セン

ター、伝染病病院等の重要プロジェクトの建設を加速させる。重大疾病予防制御作業をしっかりと行い、疫病発生状況の観測と早期警戒システムの構築を完全なものとする。病院管理イヤー活動の展開を深化させ、医療産業の不正な傾向を正し、病院にかかるのが難しく、治療費も高い（看病難、看病貴）問題の解決において、成果を重点的に獲得する。人口発展戦略研究を強化し、人口と一人っ子政策業務のメカニズムを完全なものとし、引き続き低出産レベルを維持する。健康都市建設活動を展開し、都市・農村愛国衛生活動の全体的レベルを引き上げる。メディア出版、放送・映画・テレビ、文化芸術等の事業の発展を加速する。市街区において40万戸の有線テレビデジタル化移行を全体として終了させ、移動デジタルテレビの放送を開始し、村々の有線テレビの整備を加速する。全市民健康活動の展開を深化させ、市体育センター計画の建設工事を開始する。大連市婦女・児童発展計画を全面的に実行し、婦女・児童の合法的な権利と利益を保障する。双擁（人民解放軍を擁護しその家族を優遇する）・優撫措置、民族・宗教・華僑事務・対台湾・人民防空・民兵・予備役・障害者及び老齡事業などの業務を深化させ、しっかりと行う。

(9) 精神文明と民主法制建設を強化し、文明都市建設の成果を強固なものとし、レベルアップする。

「大連市全国文明都市創造建設活動計画（2006～2008年）」を実施し、文明都市建設の成果をさらに強固なものとし、「文明都市とともに歩もう（我与文明城市同行）」の一連の活動を展開し、「誠実な大連（誠信大連）」建設を引き続き強化する。道徳、科学教育、文化娯楽・スポーツ活動、衛生、法律の「五つの先進社区（五進社区）」活動を積極的に推進する。社会公德、職業道徳と家庭美德の建設を強化する。社区の機能をさらに完全なものとし、社区情報サービスセンターの改修を完成させる。各レベル政府は人民代表大会の法律監督、活動監督そして政治協商会議の民主監督を自覚を持って受け、重大事項を人民代表大会常務委員会に報告し、政治協商会議に諮る制度を堅持し、連絡ルートを通じての意思疎通をしっかりと行い、各界の意見と提案を十分に聞き取り、人民代表大会と政治協商会議の建議、提案を誠実に処理しなければならない。政府と工会の関係を強化し、工会がその機能を履行することを積極的に支持する。「法に基づく行政実施を全面的に推進する綱要（全面推進依法行政實施綱要）」を誠実に貫徹し、行政機関に法に基づく行政を遂行させ、行政の法執行責任制を完全なものとし、法治政府の建設に努める。第9回行政審査許可項目簡素化と全市年度検査制度改革作業を完成させる。「第5期法律普及5ヵ年計画（五五普法）」の計画と開始作業をしっかりと行い、法制宣伝教育の展開を深化させる。社会状況と民意を反映するチャンネルをさらに広げ、基層民主を拡大し、政務公開を全面的に遂行し、広範な人民大衆の法に基づく民主権利の行使を適切に保障する。改革、発展、安定の関係を正確に処理し、改革深化の過程において、大衆の切実な利益に関わる問題の解決に特に注意をし、「陳情（信訪）条例」をしっかりと実行し、陳情と人民調停活動を誠実にやり、社会の矛盾を積極的に取り除く。法律サービスを規範化し広く展開する。社会治安防止コントロール体系の構築促進を加速し、都市治安の全体的防止コントロール能力を向上させ、法に基づき各種犯罪活動を厳しく取り締まり、全市の社会の安定を維持し、社会治安総合統治先進都市を創造する。安全発展の原則を堅持し、三級安全監督管理体系をさらに健全化する。安全生産の現場と基礎活動を強化し、安全生産の質標準化建設を押し広め、安全生産責任追及制を実行し、市レベルの事故応急救援センター、危険化学製品集中コントロールセンターを建設し、良好な安全生産の情勢保持に努力する。

(10) 政府機能の転換を加速させ、政府の社会管理と公共サービス能力を適切に向上させる。

政務公開の推進を大筋とし、ソフト環境の建設程度を強化し、政府のサービス機能を高め、政府政策決定メカニズムを健全化、改善し、行政政策決定の科学化、民主化レベルの向上に努め、政策決定の追跡と問題点の指摘、責任追及制度を実行し、政策決定の正確性と有効性を保証する。各レベル行政サービスセンターの建設を全面的に強化し、電子政務サービスのレベルをさらに向上させ、サービス範囲を拡大する。公共事件の緊急対応体系の構築を加速させ、突発事件に対する対応能力を向上させる。政務公開、<sup>9)</sup> 廠務公開、村政務公開の目的性、規範性と双方向性を高め、教育、衛生、交通、水道・電気・ガス、そして不動産等の産業の業務公開制度を全面的に推進する。「公務員法」の実施を全面的に貫徹し、公務員管理をさらに規範化し、公務員の行政能力を高める。全市の各レベル公務員は法に定める権限と手続きに基づいて厳格に権力を行使し、職責を履行しなければならず、公のために入党し、人民のために執政する（入党為公、執政为民）という思想をしっかりと構築し、権力は人民のために用い、情報は人民のために知らせ、利益は人民のために求め（権为民所用、情为民所系、利为民所謀）なければならない。「祖国を愛し、人民に忠誠を尽くし、職務を忠実に尽くし、不正・収賄をせず公の勤めをし、真実を求め実務に励み、開拓刷新を行い、全体の利益を尊重し、団結協力する（熱愛祖国、忠於人民、恪尽職守、廉潔奉公、求真務実、開拓創新、顧全大局、団結協作）」という公務員精神を大いに発揚し、学習を強化し、素養を高め、従来型工業基地振興と和諧社会構築のために再び立ち上がり、新たに成果を挙げなければならない。代表の皆さん、我々はすでに新しい歴史的発展のスタート地点に立っている。情勢は人を奮い立たせるものであり、任務は光栄ではあるが並大抵ではない。我々は胡錦濤同志を総書記とする共産党中央部と緊密に団結し、共産党遼寧省委員会、省政府そして共産党大連市委員会の正確な指導の下、思想を開放し、時代に即して発展変化し、開拓と刷新を行い、着実に仕事を行い、わが市の経済・社会の持続的で、比較的速い、健全な発展のために努力奮闘しよう。

（高屋和子訳）

#### 注

- 1) 訳注：農村への小売・商業企業の進出を促進・支援し、農産物の商品化を高め、保存、流通、情報サービスの近代化を図るプロジェクト。
- 2) 訳注：緑色（無公害、化学肥料・農薬の使用を抑えた）食品の流通ルートを切り開き、緑色市場を育成し、緑色消費を誘導するプロジェクト。
- 3) 訳注：軍人の妻の就業が問題となっており、そのため軍人の妻に職業訓練を受けさせたり、社区の様々なサービスに関する仕事に着かせ、就業問題を緩和するとともに、地域社会、公共サービスに参加させる取り組み。
- 4) 訳注：2007年までに①陸地工場化養殖面積を現在（当時、以下同様）の55万平方メートルから100万平方メートルに拡大し、魚類生産量1万トン、総合生産高15億元に、②稚なまこの放流繁殖と港の養殖面積を現在の42万畝から100畝に拡大し、生産量2万トン、生産高20億元に、③帆立貝稚貝放流繁殖面積を45万畝から100万畝に拡大し、生産量5万トン、生産高10億元に、④干潟の貝類繁殖・養殖面積を50万畝から100万畝に拡大し、生産量50万トン、生産高40億元に、⑤赤貝稚貝放流繁殖面積を5万畝から100万畝に拡大し、生産量5万トン、生産高5億元に、⑥水産品精密高度加工生産量を65万トンから100万トンに増加させ、年生産高15億元を超える10大水産加工産業団地を建設し、精密高度加工生産高を100億元にする、というプロジェクト。

- 5) 訳注：オフィスビルを利用して企業や企業の地域本部を誘致し、地域発展と租税収入増加を目指す経済。
- 6) 訳注：①政策的支援により、民営企業を強化、拡大する。②参入規制を緩和し、新しい民営企業を育成する。③企業・投資誘致により、地域外の民営企業を呼び込む。
- 7) 訳注：失業者が政府の選定した職業訓練学校で学ぶ際の学費等の免除や、選定校への教育の質向上や設備整備等補助の実施。
- 8) 訳注：農業資材商品、市場、企業などへの管理監督を強化し、農民利益を保護する活動。
- 9) 訳注：「大連市廠務公開実施弁法」により、企業は、重要な意思決定、生産・経営管理に関する重要問題、従業員の利益に関係する問題、幹部の汚職防止等の重要な問題を従業員に対し公開しなければならない。